

八女市の種苗会社がミャンマーの農業に挑む！

～アジア最後のフロンティアで胡瓜・ニガウリなどを生産～

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社久留米種苗園芸(福岡県八女市、梅本利弘代表取締役)が提案する「Yoi-Tane 高品質種子生産システム」の構築のための案件化調査(ミャンマー連邦共和国)を採択しました。

ミャンマー政府は、農業政策として優良な野菜種子の供給と民間企業の投資による種子産業の育成に重点的に取り組んでいます。一方、日本の種苗業界は、野菜の新たな採種地を求めており、ミャンマーはその有望な候補地として注目されています。

本提案技術である「Yoi-Tane 高品質種子生産システム」は、高品質の無病種子を効率的に生産し、それを適正に検査するシステムです。この導入によりミャンマーの気候風土に適応した品種の開発、及び生産した種子の海外輸出も可能となります。



日本の関東地方で栽培される百成レイシ



Yoi-Tane 高品質種子生産システム

提案企業は日本で生産性の高いニガウリのハイブリット品種「百成レイシ」保有しており、その採種技術を活用して、ミャンマーでも消費量の多いニガウリ等を対象に採種技術について調査します。将来的には、ミャンマーへの採種技術移転を通じた農業振興への貢献が期待されます。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州国際センター 担当:小西 TEL 093-671-8204

JICA国内事業部中小企業支援調査課 海老沼(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp